

## 第三回アンケート結果（抜粋）

### 3. 一般講演3「知識伝承とナレッジ・マネジメント」

1. Wiki が主に収集のために利用されているという部分がよく分かりません。私には知識の整理、一般化といったプロセスをコミュニティの中で open に行なう場というふうに見えます。どんなプロセスを全体として考えておられるのかを知りたいです。

#### ※回答

おっしゃるとおりに、知識の整理および一般化を open に行う場としての使い方が Wiki の用法の上では理想的と思われます。しかしながら、組織や企業の中でより多くの人々が Wiki の編集に携われるかと言えば、かならずしもそうでないと考えます。というのも、多くの人は現業、すなわち現場の業務に多くの労力と時間とを割かれ、Wiki のようなドキュメントを操作・編集する余裕がないためです。

ですので、私の発表の中では、まず blog のようなツールで情報を発信ないしは創造してもらい、それを Wiki 上にまとめるという手順を話させていただきました。具体的なところでは、「Wiki マスター」のような人材（個人でも複数でも可）を配置した上で、blog から発信された情報を Wiki 上に整理するという手順を踏むこととなります。

ここで、Wiki が open であるというのは実は強みになると思っています。というのも、ご指摘のように知識の整理・一般化を open に行えるということは、Wiki 上でいったん体系化された知識が組織の中で「お仕着せ」にならない、というメリットがあるためです。そして何よりも、知識の体系化に「Wiki マスター」ならずとも関与できるという仕組みによって導出される皆の参画意識の醸成に寄与するという利点もあるかと考えています。

以上